

つぎのぶんしょうをよんで、もんだいにこたえましょう。

ぼくは、じてんしゃのれんしゅうをしました。おとうさんが、うしろをもってくれています。

「まっすぐまえを見て。」

おとうさんがいました。ぼくは、ペダルをぐいぐいこぎました。

しばらくして、ふりかえると、おとうさんは、ずっととうしろのほうに立つ

ていました。手をふっています。

「あれっ。」

ぼくは、一人でのっていたのです。

びっくりして、足をついてしまいました。でも、うれしくて、大きなこ

えでさけびました。

「おとうさん、のれたよ。」

おとうさんは、はしってきて、ぼくのあたまを、ぐしやぐしやとなでて

くれました。

(このもんだいのための かきおろし)

(一) おとうさんは、ぼくに、なんといいましたか。ぶんしょうから十字までで、かきぬきましょう。

[illegible]

(二) ぼくがふりかえると、おとうさんは、どうしていましたか。アゝウから一
つえらびましょう。

ア
じてんしゃのうしろを、もっていた。

イ
ず
っ
と
う
し
ろ
の
ほ
う
に
立
っ
て、
手
を
ふ
っ
て
い
た。

ウ
いえの中に入っていた。

(三) 「あれっ。」とありますが、ぼくは、なにに気がついたのですか。「のです」につづくように、ぶんしょうから十字までで、かきぬきましょう。

[illegible]

(四) おとうさんが、ぼくのあたまをなでてくれたのは、どんなきもちからですか。二十字までで、かきましよう。

[illegible]